

パストス週報

兩月 15

第1143号
昭和四十七年
四月五日発行
Director
Koiti Mori
Redator
Shion Oda
Rua Pres.
Vargas, 188
C. Post. 112
Fone: 40
Bastos
C. P.
Anual
Cr. \$
24.00
Adian

愛国精神の強化

○ブラジルにも数年前までは学生運動が盛んで、赤がかった方向に進み、政治方面にも進入りこんで来た観があったが、革命政府は斷時とした方針のもとに徹しく取締ったので、次第に下火となり、今日では許論そのもので、まことに喜ばしい。学生は次代を背負うて立たねばならぬ大切な層である。充分学問に打ち込み、人格の陶冶に励まねばならぬ。大体学生が政治運動にのり出したり、徒党を組んでデモを起し、警察官と渡り合ったり、学府を占拠したり、することは法治国としては許されてはいない筈だ。ブラジルは特に此れ善の学生運動の取締りを強化したのである。うか・吾々が望んでいる通りの秩序ある学生生活に戻っていることは立派だし、学生の本分に帰るよう、当局の指導が徹底しているからであらう。又、ブラジル政府は、ブラジル国を愛せよと呼号しつつあるのである。

○学生運動は世界的の流行であるかのようになり、欧州先進国でも一庶騒いだ時代があり、日本でもペンカクレンの名でデビエーし、先進国に劣らぬ活動をした。何かこう、警察と衝突したりしないと、おさまらぬものがあつたのであらう。それはたゞり溢ふれる青春の熱気のようなものだ。激しい口論や主張だけでは物足りず、暴力を振って斗争することにより、若さのばけ口があつたのだ。

日本の学生運動の進行は、デモに始まり、十一年前の安保条約反対、議会占拠未遂、佐世を、保騒動、大学造反、よど号ハイジャック、成る。吾々は戦前の教育初語式のものとは言ね、田空港、警官殺害と、次第に練習を積み重ねるべきであつたといひ度い。民主主義は自由主義、遂に妙美山、あさま山荘の実弾とまで工べきであつたといひ度い。民主主義は自由主義運動から浮上つて大量リンチ殺人事件へ発展してしまつて、共産系学生からも批判されるに到つたらしい。

○こうした一連の学生運動につきものの武器として、ゲバ棒、火炎ビン、迫撃では爆弾などもつかうようだが、こういう武器で、すでに警官数十人を殺傷しているし、婦女をも爆死せしめてゐる。

こういう治安破壊行為に対して警察庁や警視庁はどんな取締りをしてゐるのだろうか。彼ら学生の集団に敗北してゐるわけはない。その都度多数の現行犯人を逮捕してゐるし、主領の未摘持者には、全国手配をしてゐるらしいが、中々鎮撫する処まで行っていない。

毎度ありがとうございます。
そろそろ夜は寒くなります。
お夜食には暖か熱もの料理を、
御宿泊とお食事には、御安全に、
御始の披露宴と御仕出しに、
御家族連れの御食事には、
日本料理とブラジル料理、
パストス名物料理

BAR PRIMAVERA

プリマヴェーラ



ホテル食堂 林川悠一

電話 九十二

デモがあると、解放させるために放棄したリ、催涙ガス弾をなげたりしているが、どうも枝が末端で、根本的なものを忘れてゐるのではないか？

○もっと、さかのぼつて云うならば、学生を、ここまで甘やかした過去の教育問題がある。吾々は戦前の教育初語式のものとは言ね、もう少し筋の通つた教育方針を確立すべきであつたといひ度い。民主主義は自由主義であるとして、自由に振舞うことを奨励し、放任になりやすいように指導した。自己の天分を伸ばすを美辞として、勝手放題とした。そして、その結果、国家に造反する多くの学生を作りあげてしまつた。少しく道徳的なことを言うとなつて、あいつは古いと酷評されてしまふのである。

ホタンやネツの締め加減が当局にも判らず、小説(創作)は性描写を思い切つてやつて、もよろしい。又、ド写真もよろしい。フリーペックスもよろしい。と、日本の敗戦が、これまで頑固な程取締つていた禁鎖をいっぺんに解いてしまひ、顔をどむけるような文芸が大じりである。思想にもおろくろくおろくのかげ声に、戦陣訓ならいざ知らず、皇室も

何のその、皇室に向つて非礼(不敬)とけまわ
ない)的(的)な言辭を平気で使う。赤化(赤化)しなけり
や人間の恥(恥)とばかり、学生運動の参加者は共
産色のない者はない程の思想開花である。

○こういう教化の結果をみて当業者は今更の
如く驚き、急に修身課を復活するの、どうの
と騒いでいる形(形)しいが、少くとも「愛国の精
神」の涵養(涵養)くらいは根本的な次元に於いて、
きびしく再出(再出)発すべきであらう。

○あなたは右翼か、左翼かと問われたら、何
と答えるか。私は右翼も左翼もさういだが、
教育の根柢(根柢)に於て愛国の精神を説くならば、
日本伝来の思想という種(種)健全不動の中(中)庸(中)な思想
が芽生(芽生)えるであらう。

人間は放縱(放縱)に育てるものではない。よい指
導者が正しい中庸(中)な教育を施(施)すならば、学生
が徒党(徒党)を組んで警官を殺すようなことは決し
て起らない。

暴力学生が佐藤首相を殺害するといふのな
らば、まだいくらか判(判)る。しかし、平凡(平凡)な市
民である警官を権力(権力)の手先(手先)だといつて敵視
するやうな教育は誰(誰)がしたのであるか。

大学生などを甘(甘)やかしてはいけない。御(御)
謙(謙)取(取)りたんか尚(尚)いけない。
すべからう彼(彼)らを徴兵制(徴兵制)により二年の軍隊
生活を暮(暮)らしむ可(可)しと提言(提言)したい。

徴兵制(徴兵制)などというのと、日本再軍備(日本再軍備)につなが
るやうだが、すでに旧陸軍(旧陸軍)以上の新装備(新装備)によ
る自衛隊(自衛隊)があるではないか。

日米安保条約(日米安保条約)だと、いつまでアメリカに
たよ(たよ)つて居(居)られるものでもあるまい。

第一(第一)自(自)國(國)の守(守)りを外國(外國)に依存(依存)する精神(精神)がま
ちが(ちが)つて居(居)る。これまでは、戦後(戦後)の経営(経営)に手
がま(ま)わらず、アメリカの世話(世話)になつたといふ
いきさ(いき)つはあ(あ)るが、経済(経済)大國(大國)として水準(水準)以上
にのし(のし)上(上)つた今日(今日)、自(自)分(分)の國(國)日本(日本)を、自(自)分(分)ら
が守(守)らないでどうする氣(氣)か。

○太平洋戦争(太平洋戦争)に敗(敗)け方(方)をしたので、骨髄(骨髄)まで
く(く)ころ(ころ)ぬ(ぬ)はない。

北(北)鮮(鮮)が日本(日本)に攻(攻)めこ(こ)んできたらどうなる、
中(中)共(共)が矛(矛)を向(向)けて来(来)たらどうする、更(更)にソ連(ソ連)
が攻(攻)略(略)して来(来)たらどうする、まず、そんなこ
ろにはなるまいが、其(其)の都度(都度)アメリカ様(様)にお
願(願)申(申)して、戦(戦)争(争)代理(代理)をしていただく。
は(は)あ、よい氣(氣)なも(も)のだ。そんな考(考)えだか
ら、ニクソン(ニクソン)にも馬鹿(馬鹿)にされ、トル(トル)、シヨソ
ク(ク)や、頭越(頭越)し外(外)交(交)や(や)られるのだ。

○もうこの(この)辺(辺)で自(自)主(主)、自(自)守(守)の日本(日本)にか(か)えろ
べきだ(だ)らう。そのた(た)めに「愛(愛)國(國)精神(精神)」の強
化(化)を計(計)らね(ね)ば(ば)なら(ら)ない。

○大学生(大学生)らが共産(共産)寄(寄)りにな(な)つて騒(騒)ぐのも実(実)は
彼(彼)らの若(若)さを発散(発散)させ(せ)る機(機)会(会)ないか(いか)う止(止)むを
得(得)ず、警(警)官(官)と渡(渡)り合(合)つたりする(する)のである。
教育(教育)の改(改)善(善)と同時(同時)に、彼(彼)らに「シ(シ)コ(コ)のミ(ミ)ダ
テ(テ)」にな(な)つてもら(もら)いたい。天皇(天皇)のため(ため)に命(命)を
賭(賭)すの(の)がい(がい)や(や)なら、祖父(祖父)の國(國)を守(守)るた(た)めに銃(銃)
をと(と)つてもら(もら)いたい。
○わ(わ)が家(家)を荒(荒)す賊(賊)を退(退)けるの(の)は吾(吾)人(人)の義(義)務(務)だ。

ラツソングットラの

御(御)使用(使用)によ(よ)つて
養(養)鶏(鶏)家(家)各位(各位)は、多(多)大(大)利(利)益(益)を得(得)られ(ら)れます。

○世(世)界的(界的)に有(有)名(名)な味(味)の素(素)「社(社)と提
携(携)して、合理的(合理的)完全(完全)飼(飼)料(料)を製(製)造(造)
し(し)てお(お)り(り)ます。

日(日)伯(伯)合(合)同(同)の技(技)術(術)によ(よ)り、最(最)高(高)率(率)
の産(産)卵(卵)と、最(最)大(大)級(級)の卵(卵)を得(得)るこ
とがで(で)きます。

飼(飼)料(料)の配(配)合(合)に(に)は電(電)子(子)計(計)算(算)機(機)を利
用(用)し、常(常)に研(研)究(究)をつづ(づ)けてお(お)り
ます。

鶏(鶏)の産(産)み疲(疲)れを防(防)ぐた(た)めに飼(飼)料
配(配)合(合)の研(研)究(究)を怠(怠)り(り)ませ(せ)ん。

ラツソングットラを御(御)使(使)用(用)に(に)なる
こと(こと)は、養(養)鶏(鶏)家(家)の経(経)済(済)発(発)展(展)の秘
訣(訣)で(で)す。

RAÇÃO DUTRA

アルト バウリスダ代理店

前山商店

電話二一六

販(販)売(売)部(部)主(主)任(任) 佐藤 豊
バ(バ)ス(ス)ト(ト)販(販)売(売)員(員) 藤竹 良朗
奥(奥)地(地)販(販)売(売)員(員) 谷口 泉

○国家(国家)は吾(吾)等(等)の集(集)団(団)であ(あ)る(る)から(ら)に(に)は、國(國)を
守(守)るた(た)めに立(立)ち上(上)ら(ら)ないよ(よ)うな民(民)族(族)なら(ら)、民(民)族(族)
と(と)して(して)の価(価)値(値)は(は)な(な)い。

○学生(学生)徴(徴)兵(兵)論(論)など持(持)ち出(出)すと、あ(あ)いつ、い(い)よ
い(い)よ氣(氣)が狂(狂)つたか(か)と云(云)われ(れ)るだ(だ)らうが、遠(遠)く
外(外)國(國)で暮(暮)して(して)も、祖(祖)父(父)の國(國)の安(安)危(危)に頼(頼)か(か)ぶ(ぶ)り
は出(出)来(来)ぬ。

○日本(日本)の政(政)治(治)家(家)ども(ども)のう(う)か(か)つ(つ)さ(さ)を(を)見(見)て(て)い(い)て
が(が)ゆ(ゆ)く(く)て(て)な(な)ら(ら)ぬ(ぬ)ので(ので)あ(あ)る。
学(学)生(生)た(た)ち(ち)も國(國)家(家)に協(協)力(力)し(し)て(て)もら(もら)わ(わ)ね(ね)ば(ば)なら
ぬ(ぬ)とい(い)う(う)ので(ので)あ(あ)る。

○アマゾン(アマゾン)地(地)方(方)のロンドン(ロンドン)計(計)画(画)に参(参)加(加)して(して)い
る大(大)学(学)生(生)の真(真)剣(剣)さ、新(新)聞(聞)でよ(よ)んで、全(全)く頭(頭)の
下(下)る思(思)いであ(あ)る。そ(そ)れに何(何)ぞ(ぞ)や、日本(日本)のゲバ
学(学)生(生)の體(體)格(格)、そ(そ)れを中(中)るが(が)せ(せ)に(に)して(して)居(居)る政(政)府(府)
こ(こ)んなこ(こ)と(と)では、日本(日本)の明(明)日(日)が思(思)いや(や)られ
る。

○イヌ(イヌ)ウ(ウ)エ(エ)ル(ル)を見(見)よ。あ(あ)の小(小)國(國)で周(周)圍(圍)のア(ア)ラ
ブ(ブ)から孤(孤)立(立)して自(自)國(國)を守(守)るけ(け)な(な)げ(げ)な(な)姿(姿)ま(ま)よ。

○最(最)後(後)に「愛(愛)國(國)精神(精神)の欠(欠)如(如)せ(せ)る日本(日本)人(人)ま(ま)よ」と
叫(叫)んで、心(心)ある人(人)士(士)の奮(奮)起(起)をのぞ(ぞ)むもの(もの)であ
る(る)。(一)少(少)し演(演)説(説)句(句)調(調)で(で)お(お)か(か)し(し)い(い)か(か)な(な)い(い)。

新茶

涇(涇)漸(漸)ちも生(生)命(命)飲(飲)ま(ま)す新(新)茶(茶)汲(汲)む
檢(檢)疫(疫)に兩(兩)のテ(テ)ッ(ッ)キ(キ)の移(移)民(民)だ(だ)ち
夢(夢)のな(な)き我(我)に涇(涇)ち(ち)秋(秋)と(と)も(も)ー

生駒先生と少年野球 下

ハウル 富田 八郎

バストス大会の試合はA、Bに分けてのリーグ戦で、我がサウーデは第一試合に勝ち、第二試合にも勝った。そして第三試合（準決勝）で宿敵アルトと戦うことになった。

サウーデの先攻が始まった試合は二対二の同点の大接戦で、延長戦にもつれこんだ。

サウーデは北谷が投手で、捕手が緒方、アルトは上井が投げて捕手は山内でなかつたか（少年野球は七回戦）

八回、九回、十回までには勝負がつくものと思われたが、どちらもよく投げ、又バックの守備も堅く得点なく十一回、十二回、ベンチの応援も励まされながら負けはならじと気力で頑張った。

そして遂に十四回戦。サウーデ得点なし、その裏アルトの攻撃、二死、ランナを三塁において中村の一打は二塁頭上を抜くヒットとなり、踏返は遂に決った。

十回戦投げ通した北谷が、がっくりと肩を落とし、ベンチに向って歩みながら帽子をとって泣き出した。迎える先生や応援団に「すみません」と謝った。

みんなよくやってくれた。有難う。有難うと慰さめる先生も泣いて居られた。どうして小ム前に並んで礼を交わしたかは覚えていない。相手チームの健斗を讃える、

「フレイ、フレイアルト」も声にならなかつた。お互に慰め合っている中に悲しくなつてベンチ前にしゃがみこんで暫く泣いた。

熱戦十四回、戦に敗れた日惜涙ではあつたが、同時に今まで歯の立たなかつた相手と四つに組んで、互角に戦えたと言う歓びの涙でもあつたのだ。

戦に敗れたが、敗れて悔のない一戦だった。涙を拭いて黄昏迫る中央カンポでの写真がこれである。

この大会を機軸として我がサウーデ軍はほとんど強くなった。そして、後年バストス青年野球に於ける三強（中央・アルト・サウーデ）時代は、実にこの時が始まったと思つてゐる。

◎写真其の三（説明、昭和十二年二月生駒先生最後の試合、中央を敗る）

先生の日本帰国が決り、中央チームと先生の送別試合をやつた。この試合では、サウーデが中央に勝つたが、今考えると先生の帰国に際して中央が負けてくれたのではないかと思われる。

私と堀野君は、卒業後でユニホームを着ていない。サウーデのメンバーには新たに浅岡、高橋、山岡、清水君等が加わっている。試合後中央チームと仲良く交互に並んで、しるりに生駒先生と斎藤先生が立って居られ

御案内

バストス仏教婦人会よりお知らせ

四月十六日午前九時

寺院門前に集合。揃つて元会員の物故者の墓参。有縁の方の同道を希います。

正午から物故会員の追悼法要

尚、仏教婦人会 十五周年記念法要。引きつづき記念式典を行います。

◎花まつり について

四月十六日午後二時から灌仏会法要

花まつり行争いろいろと、日校生青少年・婦人会員、仏教会員、信徒と共に夕方迄大いにぎわいましょう。

花まつり奉讃演芸大会

四月三十日夜 寺院境内にて

当日の全伯野球選抜大会に花をそえる意味で、

・フ・プルテンテ。アダマンチーナ。オ・クルース。ツツパン。

マリリア。の各寺院の協力を願ひ、地元個人、団体の各位出演のもとに開幕いたしますから、

出演者はどなたも早目に御連絡を願います。

バストス南米本願寺仏教会

皆々様

る。写真の中央選手は（西・溝部、工藤、古川・小野・松本・三宅・宮野・中野の諸君）以上、三枚の写真を見て私は、遠く少年の日を想い、ひとり懐しんだ。

先生の御訪伯のお蔭で思いがけぬ多勢の伯友たちにお会い出来たが、写真の中、坂本、香木、大島・赤沢君の消息がわかつた。幸いこの記事を見られたら、是非とも御一報願いたいものである。

又当時、共に技を磨き合った中央チームやアルトチームの皆さん、其の他の少年選手の皆さんの御健勝を切に祈るものである。

三枚の写真の中、
中央の選手が先年亡くなられた。
アルトチームの選手をして下さった田田さん
に云し

各々の選手は、強張り屋の緒方君は、輪禍で、
中央の溝部君も他界されたと聞く。
明日を異にした先輩、球友達の冥福を心
りつつ、少年野球想い出の記を終る。
完

生長の家大講演会

日時 四月十二日 午後八時

場所 バストス総合会館

講師 ソロカバナ第二連合会

教化支部長

西山正一先生

此度びの西山先生の御講演は教育に
関するお話しでありますから、生長
の家信者以外の方々も是非御来聴さ
れます様お勧め致します。先生は渡
伯以来日本語教育に挺身され、素
しい成績を挙げられ、父兄から大愛
感謝されております。
現在はオリンニオス市で日本語学校
を経営され、百数十人の生徒に日本
語を教育され非常な成果を挙げオリ
ンニオスの日系人から感謝されてお
る素晴らしい先生であります。
父兄も青年男女も是非御来聴下さい
ます様御案内致します。

主催 バストス生長の家誌友会

後援 バストス日伯文化協会

全 バストス日本語普及会

Artefatos de Arame Paulista

ガイオリラ アラメ製作所

迅速丁寧

御注文に応じ、御指定通りに色
々製作いたします。
出来得る限り堅牢にと心掛けて
入念な仕事をしておりますから
御注文の多少に拘らず御用命下
さります様御願ひ申し上げます。

アントニオ・ジョン街二十五番地
シマカラ 小林さんの向い側

レゼット福瀧

自宅電話 三六九
郵函 四十一

御 禮

私儀、今般県費留学生に選考せられ
去る三月二十五日夜ピラコッポス空
港出発、空路訪日の旅に向いました。
出立にあたり、バストス岡山県人会
の各位より御丁寧な御餞別をいただ
き有難うございました。

満一年岡山大学工科を勉強の上、帰
伯の予定であります。右とりあえず
御礼申し上げます。

四月三日

岡山県にて

岡 本 巧

バストス県人会各位様

御 禮

去る三月二十六日、綜合会館に於て「舞踊の夕」を開催いたしました。た飾け賑々しく御来場下さいまして誠にありがとうございました。其の飾左の方々より御花を戴きまして、ありがとうございました。この御花は、一般入場料の内に繰り入れ、テスペーザを差引き、サクタ、カーザ建設基金へ寄附いたしました故、御承知下さい。尚又、前券売りのために各区长さん方に大変御世になりました。ここに厚く御礼申し上げます。
 (五四二#〇〇リテスペーザ。三三・〇七八#〇〇寄附金高)

一九七二年 三月二十八日

戸 田 ツ イ 子
 友 谷 和 子
 大 塚 シ ツ 子

花の御礼

中原 一郎 様
 相原 貞代 志 様
 松原 枝 様
 早川 君 枝 様
 宮武 三 旗 様
 石越 三 旗 様
 守越 三 旗 様
 フオット 島 本 様
 フオット 島 本 様
 フオット 島 本 様
 古川 島 本 様
 磯谷 泰 治 様
 上西 泰 治 様
 小茂 田 治 様
 織田 茂 治 様
 佐藤 次 男 様
 豊島 喜 一 男 様
 原夕 喜 一 男 様
 バル 柳 浦 様
 バル 柳 浦 様
 バル 柳 浦 様
 島本 柳 浦 様
 谷口 秋 子 様
 山根 三 郎 様
 山根 三 郎 様
 山根 三 郎 様
 山根 三 郎 様

山根 重 三 郎 様
 森 橋 芳 子 様
 高 原 芳 子 様
 柔 原 芳 子 様
 柔 原 芳 子 様
 高 原 重 利 様
 大 谷 方 太 郎 様
 清水 利 郎 様
 水 馬 利 郎 様
 福 満 末 子 様
 光 石 末 子 様
 光 石 末 子 様
 前 山 秀 夫 様
 高 上 繁 雄 様
 井 上 繁 雄 様
 吉 田 登 雄 様
 吉 田 登 雄 様
 西 ヶ 迫 信 秀 様
 小 澤 長 男 様
 石 橋 長 男 様
 友 谷 シゲ 子 様
 岩 橋 満 雄 様
 岩 橋 満 雄 様
 ホ テル 森 川 様
 崎 田 春 一 様
 石 橋 利 助 様
 清水 利 助 様

29

DELEGACIA DE EMPÉTIMO BÁSICO DE
TUPÃ

DIRETORIA DO GRUPO ESCOLAR "ÁGUIA DE HAIÁ"
ASSOCIAÇÃO DO PAÍS E MESTRES

DEMONSTRAÇÃO DO MOVIMENTO DE NUMERAÇÃO DA AN
(de Agosto a Dezembro de 1.971.)

R E C E I T A S

Contribuições Efetivas dos Sócios	Cr\$ 1.995,00
Arrecadações Eventuais	
Campanha de vendas de selos antituberculose	100,00
Licenças expontâneas; avisos	5,60
Total Geral	Cr\$ 2.100,60

D E S P E S A S

Materiais Escolares	
Livraria Santa Teresinha	293,80
Comercial Morishigue	408,65
Super Lojas Universal	14,50
Assistência Dentária	
Dental Premier	35,00
Farmácia União	51,44
Obica Dental Prado	473,00
Impressos	
Tipografia Santa Maria	29,90
Eventuais	
Dr. Alceu de Paula Pontes	250,00
Cobralil	130,00
Comercial Morishigue	100,00
Soma Geral das Despesas	Cr\$ 1.794,29

SALDO DISPONIVEL NA CAIXA

Saldo que se transfere para o exercício seguinte	306,31
Total Geral	2.100,60

DIRETORIA EXECUTIVA

Presidente:- Tadashi Himori
Vice Presidente:- Reiji Maeyama
Secretário:- Odayr Rogério Macagnan
Contador:- Haruo Morishigue
Vogais:- 1. Buenon Yabuiki
 2. José Maranhano

CONSELHO FISCAL

1. Dr. Massaharu Matsubara
 2. Noboru Shimamoto
 3. Erasmo Pereira Russo
- CONSELHO DELIBERATIVO
1. Jaime Floriano Rodrigues
 2. Eiti Komoda
 3. Dr. Tsutomu Okuda
 4. Victor Geraldo Penteado
 5. Yoshiharu Morishita
 6. Giro Okura
 7. Hissao Nagayoshi
 8. Antônio Húngaro de Jesus
 9. Aparecida Gonçalves da Silva
 10. Amery Baptista da Silva
 11. Alzemira Dias do Val
- SUPLENTE
1. Alguardo Paekaskulis
 2. Hitoshi Irie
 3. Miguel Molina Castilho
 4. Shigueru Shida

Outros Dados

1. Número de Sócios Contribuintes 133
2. Número de alunos do estabelecimento 740
3. Número de alunos inscritos na Assistência da APM. 183
4. Número de benefícios em Material Escolar 958
5. Número de benefícios em Assistência Dentária 10
6. Número de benefícios eventuais 2
7. Número de Reuniões realizadas 5
- a) Do Conselho Deliberativo Dia 8/06/71
- b) Do Conselho Deliberativo e Diretoria Executiva Dia 29/06/71
- c) " 31/08/71
- d) " 28/09/71
- e) " 26/10/71

シ ョ ー ト

Sr. Antonio Yabuiki's Kubo Banco do Bra
Sr. Gobuo Yabuiki's Banco S. S. P
Sr. Sumio Morita sua Florianano Peixoto Banco
Sr. Choji Yamagata sua Rio Branco Banco
中国人 佐藤 光雄 代表

週報社 15 頁

決勝リーグ第二試合

マリリア1×ツパン7

一回マリリア宮本兄三振宮本弟四球三浦一飛
 笹崎二飛
 ツパン 中村一飛佐藤四球水鳥遊ゴロ安打
 佐藤二進、三益水鳥二盗捕手好投に刺さる
 その間大泉四球、佐藤ホームイン藤瀬三
 三飛ツパン先取一点
 二回マリリア藤村右翼へ安打寺田の送リパン
 ト三塁より打てば安打となり藤村二塁を
 送り一塁よりの送球三塁前に刺さる、川崎投
 飛緒方右飛
 ツパン三宅三ゴロ佐藤捕邪飛重松右翼へ二塁
 打武藤三遊間を抜く安打に重松三進中林左
 翼へ二塁打すれば二着生還佐藤兄三ゴロで
 この回二点
 三回マリリア深木一飛宮本左前安打宮本弟三
 振三浦投飛
 ツパン水鳥遊ゴロ内野安打二盗塁に捕手暴投
 で三進大泉左飛藤瀬のスクイズパンター飛
 となり水鳥併殺さる
 四回マリリア笹崎中飛藤村四球二盗捕逸に三
 進寺田二直飛川崎投ゴロ
 ツパン三宅左飛佐藤遊ゴロ内野安打重松一飛
 に併殺さる

五回マリリア緒方一ゴロ深木一飛宮本兄四球
 宮本弟遊ゴロ
 ツパン武藤三振中村右翼失で二進佐藤二ゴロ
 水鳥右翼に安打中村生還大泉左飛この回二点
 六回マリリア三遊ゴロ笹崎投ゴロ安打に藤村
 四球これよりツパン投手赤崎に替る寺田四
 球で満塁川崎の代打角立遊ゴロ笹本封さる
 緒方押出一点深木遊ゴロこの回一点
 ツパン藤瀬遊ゴロ三宅三ゴロ赤崎捕手防害で
 出塁重松左翼安打武藤へ三塁打に走者生還
 中村中飛でこの回二点
 ヒ回マリリア宮本兄左飛宮本弟遊ゴロ三浦左
 飛
 ツパン佐藤三ゴロ水鳥中前安打ボークで二進
 大泉遊失水鳥三進藤瀬死球で満塁三宅投ゴ
 ロで水鳥本封捕手宮本一塁へ暴投大泉生還
 赤崎一飛この回一点
 八回笹崎三邪飛藤村中飛寺田三振
 ツパン重松左前安打武藤投前振打中村捕飛
 佐藤三ゴロ
 九回マリリア角立遊ゴロ緒方三ゴロ深木左飛
 で試合終る。一時四十五分
 バテリ
 マリリア深木一宮本
 ツパン 武藤一赤崎一重松
 一三三四五六七八九
 マリリア〇〇〇〇〇〇〇
 ツパン12001210

1972年2月分 バストスの気温と降雨量 株式会社製材所 測候部

項目	気温 °C	湿度計 °C	湿度 %	最高 気温	最低 気温	降水量 m.m	風向	天候	雲量
1	26.5	25.0	86	30.0	19.5	10.0	N	☉	8
2	23.0	22.0	90	31.0	21.0	4.2	N	☉	7
3	26.0	24.0	82	29.0	21.0		W	☉	8
4	22.0	22.0	100	30.0	20.0	1.8	E	☉	9
5	24.0	22.0	81	27.0	20.0	2.9	E	☉	8
6	28.0	26.0	82	31.5	20.0		E	☉	5
7	27.0	25.0	82	32.0	22.0		N	☉	7
8	23.0	23.0	100	30.5	20.5	1.4	E	☉	8
9	26.0	25.0	90	31.5	21.0	1.0	N	☉	2
10	27.0	25.0	82	31.0	21.0	0.6	E	☉	4
11	25.0	24.0	90	32.0	21.5	3.0	N	☉	5
12	23.0	23.0	100	29.5	21.5	1.5	N	☉	10
13	24.0	23.0	90	28.0	20.0	1.3	E	☉	10
14	26.0	24.0	82	27.0	20.0	3.0	E	☉	8
15	25.0	24.0	90	28.5	20.5	6.2	N	☉	9
16	25.0	24.0	90	29.0	21.0	0.2	N	☉	7
17	25.0	24.0	90	28.5	19.0	4.4	N	☉	7
18	26.0	25.0	90	30.0	22.0	0.5	N	☉	6
19	25.0	24.0	90	31.0	22.0	1.9	N	☉	7
20	22.5	22.0	95	29.0	20.0	4.5	N	☉	10
21	23.0	22.0	90	25.5	19.0	5.5	E	☉	8
22	27.0	24.0	74	29.0	21.5	3.4	S	☉	5
23	29.0	24.0	67	30.0	21.0	6.5	N	☉	7
24	26.0	24.0	82	32.0	21.0		N	☉	8
25	28.0	26.0	82	32.0	22.0	4.0	S	☉	5
26	26.0	24.0	78	33.0	20.0	2.7	N	☉	7
27	28.0	26.0	82	31.0	20.0		S	☉	7
28	23.0	22.0	90	30.5	18.0	4.4	S	☉	8
29	24.5	21.0	85	30.0	17.0		E	☉	
合計	734.0	689.0	249.5	869.0	593.0	306.7			
平均	25.3	23.7	86	29.9	20.4	10.5			

決勝リーグ第三試合

マリリア3対 バストス4

三回マリリア宮本兄初球死球で出塁捕手友谷の好投で二盗ならず宮本弟三振三浦三振。バストス戸来捕邪飛池田死球味野遊ゴロに二封友谷右中間のテキサスに味野三遊宮崎左翼安打二走者生還小林三ゴロ先取二点。二回マリリア笹崎死球藤村一飛寺田右翼安打笹崎二進投手宮崎二塁牽制球暴投一笹崎小ムイン角立二ゴロ緒方遊飛この一回一点。バストス田川遊飛板垣四球中浦遊ゴロ板垣二封戸来左越安打池田三振。三回マリリア深水一飛宮本兄投直飛宮本弟二飛。バストス味野投飛友谷三ゴロ宮崎一飛。四回マリリア三浦中前打、二盗、笹崎四球捕逸に走者進塁藤投ゴロ寺田三振角立二ゴロバストス小林遊ゴロ田川三ゴロ垣一ゴロ。五回マリリア緒方死球深水三振緒方二盗宮本兄投前振打で三進宮本弟四球二盗三浦遊ゴロ遊撃手戸来一塁悪送球に二走者生還笹崎三振この一回二点。五回バストス中浦遊飛戸来遊ゴロ池田左前安打味野投ゴロ。六回マリリア藤村投ゴロ寺田捕邪飛角立捕邪飛。バストス友谷左越二塁打宮崎一飛小林遊ゴロ田川三飛。七回マリリア緒方二ゴロ内野安打深水遊ゴロ安打で出塁牽制で刺さる。宮三振宮本弟二ゴロ。バストス板垣二ゴロ失に出塁代打者大竹二塁上へ安打に板垣二進戸来左飛池田左翼失に板垣三進満塁となる。味野四球押し出し一点友谷三ゴロ大竹本封さる。宮崎の走打球走者味野に当り、この回得点一点で終る。八回マリリア三浦遊ゴロ笹崎中前安打藤村二ゴロ寺田投ゴロ。バストス小林左翼安打田川遊ゴロ小林二封板垣二ゴロ内野安打大竹投ゴロ戸来三ゴロ。九回マリリア角立二飛緒方三振深水三ゴロ。バストス池田中越三塁打を打ち味野のバントに池田生還で試合終る。

バテリ

マリリア 宮本 一 宮本
バストス 宮崎 一 友谷

マリリア 一 二 三 四 五 六 七 八 九
バストス 二 〇 〇 〇 〇 〇 一 〇 一

死亡通知並に会葬御礼

私方運転手、シユラルド係去る三月二十五日午後三時半、鶏舎にて作業中、落雷に感電し、不省になり直ちにバストス病院にて応急手当致しました。但し、御厚情ありがとうございます。致しました。夜、二十七日午前八時バストス墓地に埋葬いたしました。尚葬儀には遠路の馳御会葬下されましてこの上過分な御香奠御供花までいただき、御厚情ありがとうございます。家族にかわり厚く御礼申上げます。一九七二年三月二十八日

バストス グロリア I 区
松 森 留 蔵 正

バストス市役 所 様
バストス知人名 位 様
バストス南伯単協従業員 同 様
グロリア 区 民 様
グロリア婦人 会 様

ヤハバタン Cactus

来る四月九日は俳人高浜虚子先生の十四回忌でバストス仙人掌社が記念俳句大会を主催する。すでに全伯から投句三百四十名に及び、当日は出席予定百五十名で可なり盛大な句会になり相である。ところがその兼題の内、サボテンというのがある。仙人掌は元来野生植物だが近來播種したり接木したりして変種が造られて人工的に面白くものを作り出すようになった。もし鑑賞用に造られたものは花の美しさや、形の珍奇なものがある。はれるが、山野に自生するものには巨大なグロリアスクなものがあり、砂漠地帯や荒蕪地にもたくましくのびるので北伯では家畜用として栽培している。一寸拾って見ても句として面白いものがある。

仙人掌や楷燃残る野宿あと 作者不詳
仙人掌やバールの塵を捨てる崖 作者不詳
これらは天然のサボテンを詠んだもの

蛇仙人掌サボテンに摘み咲く 作者不詳
二重のほろろ子に花屋の人えもの
洗ひ砂利豆仙人掌の鉢に救く

これらは鑑賞用人工造りのものである

死亡通知並に会葬御礼

父吉田千衛作(77)儀長らく病氣静養中の処去る三月二十六日午後十一時三十分、ツパン、サンタカーザに於て長逝いたしました。よつて翌二十七日午後五時自宅出棺バストス墓地に埋葬仕りました。此の段辱知各位に謹告申上げ、病中御見舞を賜わりましたことを厚く御礼申上げます。

追つて葬儀に際しましては遠路御厭いもなく態々御会葬下され、その上過分な御香料並に花輪など御恵供下され御厚情誠に有難く深謝致します。

実は一々御会礼申上ぐ可きでございませすが取込中にこの意を得ず勝手乍ら紙上を以て御礼の御挨拶申上げます。

一九七二年三月三十日

グロリアⅡ区

- | | | | |
|----------------|----|----|------|
| グロリアⅡのー組様 | 長男 | 吉田 | 優 |
| ハストス連合仏教婦人会様 | 妻 | 田 | はるみ |
| マドンルオキヲニヤル二年告様 | 長女 | 富田 | 澄 |
| バストス老人倶楽部様 | 次男 | 吉田 | 三 |
| プログレッシン区様 | 妻 | 田 | 一 |
| バストス南米本願寺様 | 次女 | 古賀 | 淑 |
| バストス仏教婦人会様 | 夫 | 賀 | 健 |
| グランジマバストス農産組合様 | 三女 | 林美 | 保 |
| グロリアⅡ区男女青年会様 | 夫 | 美 | 子 |
| バストス連合青年団様 | 四女 | 矢野 | 勝 |
| ブリメイロテクニコ様 | 夫 | 野 | 英 |
| 水馬種鶏場従業員一同様 | 五女 | 宅 | 逸 |
| 御会葬各位様 | 夫 | 宅 | オタビオ |

Aviso de Cine Bastos

四月二日(日)九時半 三日(月)八時
 松竹 **昆虫大戦争** 園井啓介 瞳麗子
 然色 新藤恵美 園江利
 四月四日(火)五日(水)両夜とも八時
 東宝 川津祐介 市川俊幸

然色 **クレージー黄金作戦** 植木等 沢美枝 藤田まこと
 然色 谷 啓 ベギーニール 有島一郎
 四月九日(日)九時半 十日(月)八時 四月七日・八日未決定
 松竹 風雲篇 陶花篇 同時映おえ 高田浩吉 近衛十四郎
 然色 **大東京誕生 大江戸の鐘** 嵯峨美智子 山形 勲 山田五十鈴
 然色 新珠三千代 市川深五郎
 東京誕生は日本夜明けだ。この雄辯の大業が秘める多くの涙と才争い。

四月十一日(火) 十二日(水)両夜とも八時
 東宝 仲代達矢 久保明
 高橋悦史 神山繁
 星由里子 東野英次郎

四月十四日(金)八時 十五日(土)九時半
 然色 **斬る** 敵か味方か、凄い奴二人ノ、血しびさあげて悪かどぶノ、
 酒井和歌子 森光子
 加山雄三

四月十六日(日)九時半 十七日(月)八時
 然色 **誰のために** その人のために死ぬるか、今愛の中にいる中にノ、
 梅宮辰夫 榊原文子
 菅原文太 夏珠美
 谷隼人 山城新伍

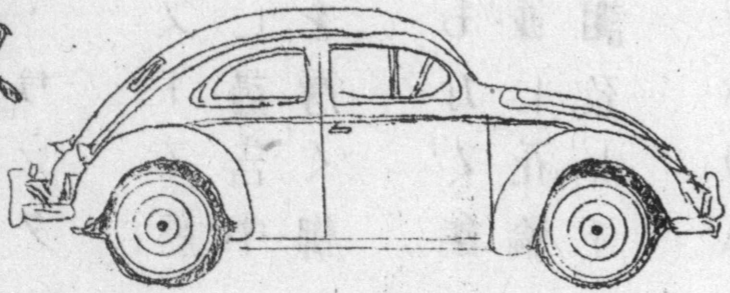
然色 **不良番長 王手飛車**
 アクションお色気の斬手続々登場ノ、梅宮辰夫と菅原辰夫の対決ノ、

CRUZ AUTO OSVALDO CRUZ AUTOMOVEIS LTDA

Rua Senador Salgado Filho, 568
 C. Postal, 156. Pone: 1368 e 1481
 Osvaldo Cruz S. P.



ヴォクスワーゲン車は全世界の
 人々から愛用されている高級車
 として有名です。
 販売人
 ミルトン オリベラ氏
 常に完備したオフィシーナと優秀な
 修理メカニクで貴方の車に最大
 の注意を怠りません



クルザウトオズワドクルース
 自動車有限公司